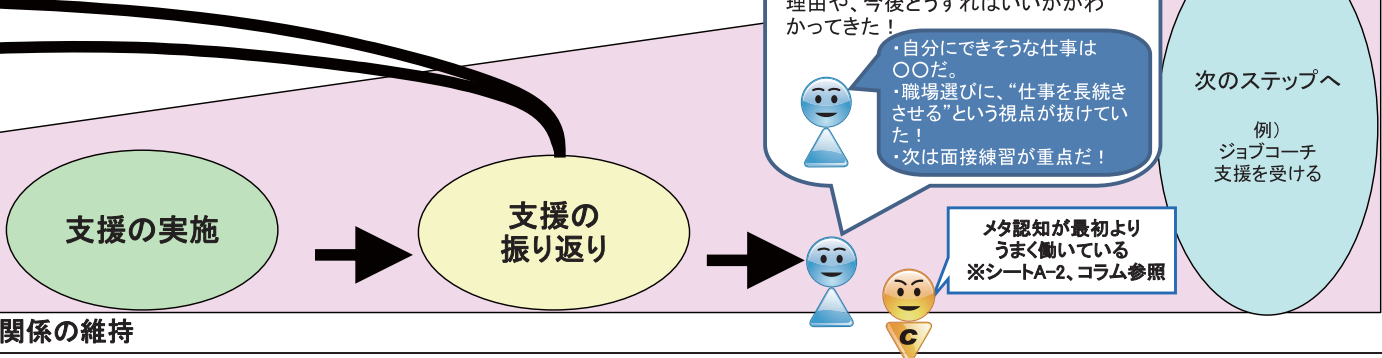


認知に障害のある人に対する 相談補助シート一覧

<p>支援の基本的な進め方</p>		
	<p align="center"><基本姿勢> ①受容的に応対する ②状況に応じて臨機応変に対応の ④発言途中に相づちを打つなど自主的な発言を受容する ⑤既に得ている知識</p> <p align="right"><就職に向けた支< ①自己理解（職業適性、作業遂行力、興 ②職業情報の獲得（働く意義、労働市場の動 ③啓発的経験（職場体験・実習 ④就職先の選択・準備（提出書 ⑤就職（復職）後の職業・職場適応（就職（復職）まで</p>	
<p>各種相談を進める際のポイント</p>	<p>< I . 利用者の認知の状況について情報収集する点 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ①どのような目的をもって来所しているか？ ②今回の来所に対して納得しているか？ ③障害のことや就職（復職）について、家族はどのような理解をしているか？ ④これまでの生育歴（経験）の中で大きな躓き、トラブルはなかったか？ ⑤躓き、トラブルがあったとしたら、その内容やパターンはどんなものか？ ⑥相手（人・会社）の要求や期待に対して、自分を合わせるという発想があるか？ ⑦過去の経験の振り返り方はどうか？ <li style="padding-left: 20px;">起きた出来事をどう捉えているか？ <li style="padding-left: 20px;">その際に、他者をどのように捉えていたか？ <li style="padding-left: 20px;">他者の自分に対する評価をどのように捉えていたか？ ⑧自身の障害をどのように理解しているか？ ⑨障害理解や他者からの評価を踏まえて、どのような自己像を描いているか？ <p>< それ以外の確認すべき必須事項 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ①生活・医療面において根本的な課題はないか？ ②二次的障害はないか？ ③関係機関等から事前情報をとっているか？ 	<p>< II . 支援方法の検討・選択、実施の ></p> <ol style="list-style-type: none"> ①課題の検討に入る前に、前回の振り返りや ②課題は、カウンセラー主導ではなく、利用者 ③利用者との間で、取り組む課題に対して努 ④取り上げようとしている課題は、支援によ ⑤課題を取り扱うことによって、利用者の被害 ⑥予め取り扱う枠組みを提示し、同意を得て ⑦「あなたの問題が軽くなるために」という発 ⑧一度に全てを扱ったり、決着させようとせず踏 ⑨困り感や緊急度の高いものから話題を選択 ⑩評価結果と過去の経験、将来の予測と結び ⑪利用者の評価（記述、発言）と実際の行動と ⑫不調に終わった事実において、利用者はど いるか？ ⑬（特に困り感、問題意識が希薄な利用者 とっているか？ ⑭複数の関係機関が関与する場合に、状況 ⑮利用者を適切に評価できるように、家族や
	<p>使用可能な</p>	<p>Sheet B: 相談時チェックシート</p> <p>Sheet C: 情報収集補助シート</p> <p>Sheet D: 次回までのチャレンジシート</p>

自己効力感の増大・動機づけの強化



仕方を利用者にあわせる ③働きかけた後、利用者が応答する間を十分与える
 や経験を基に利用者が主体的に発言できるよう必要に応じてヒントを含んだ質問をする

支援の内容と必要な視点>

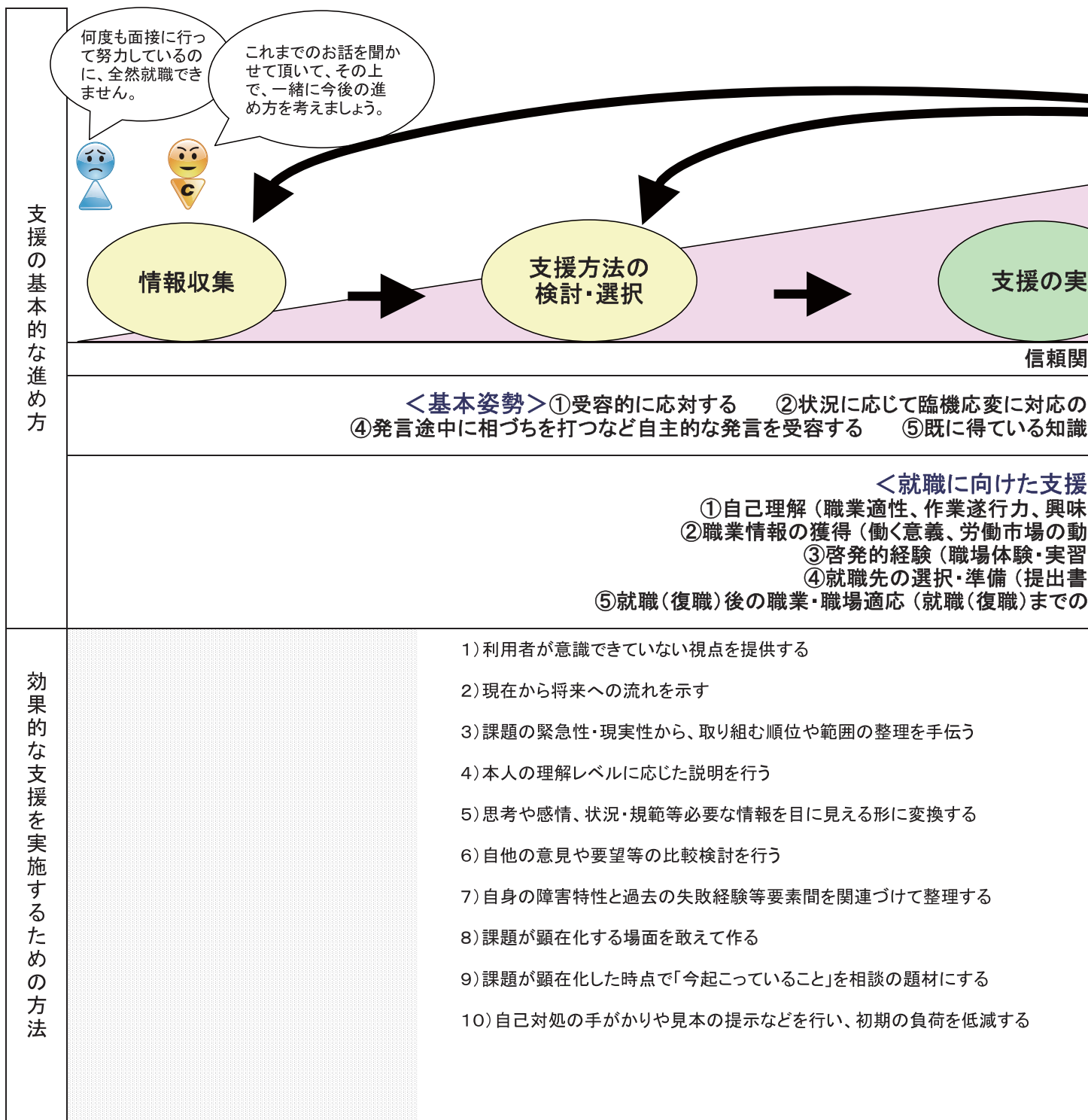
味・関心、環境、求職(復職)条件、障害認識)
 向、仕事の内容、就職(復職)活動に関するもの、
 インターンシップ、ボランティア)
 類の準備、面接の受け方の指導)
 の状況、雇用条件の相違、満足感、相談できる人の有無)

際に留意する点>

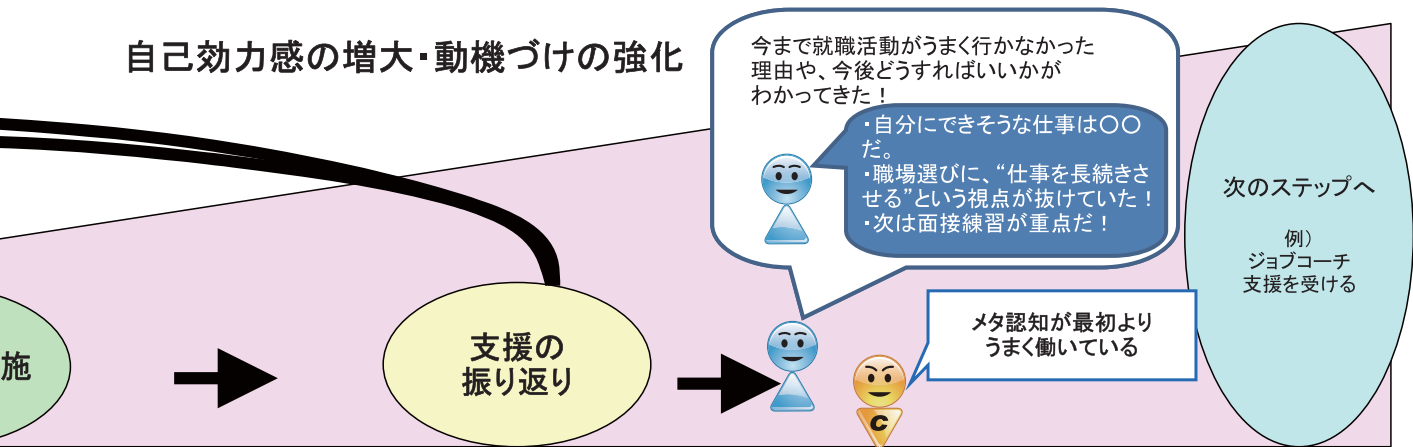
今回の目的などを説明しているか？
 自身の選択として設定されているか？
 力する意義を確認しているか？
 て修正可能かどうか？
 感・不快感情が増幅しないか？
 いるか？
 想を共有しているか？
 に、利用者にとって無理のない段階を
 しているか？
 つけて説明しているか？
 のズレに着目しているか？
 うなりたいと思っていたかに着目して
 場合に、)周囲と連携するための同意を
 の整理を行い、役割分担をしているか？
 関係者にもアプローチしているか？

<Ⅲ. 利用者との振り返りの際に留意する点>

- ①正のフィードバックを基本としているか？
- ②得られた成果を利用者の努力や能力に関連づけて、フィードバックしているか？
- ③負の部分を伝える際に、「あなたならできると言うから言っている」という思いが伝わるようにしているか？
- ④他の利用者と比べて評価をしていないか？
- ⑤課題に取り組んだ結果の成否に関わらず、次に活かせるよう、そこから何を学べたのか、共に振り返っているか？
- ⑥結果を利用者、関係者と共有しているか？



自己効力感の増大・動機づけの強化



関係の維持

仕方を利用者にあわせる ③働きかけた後、利用者が応答する間を十分与える
や経験を基に利用者が主体的に発言できるよう必要に応じてヒントを含んだ質問をする

の内容と必要な視点>

・関心、環境、求職(復職)条件、障害認識)
向、仕事の内容、就職(復職)活動に関するもの)
、インターンシップ、ボランティア)
類の準備、面接の受け方の指導)
状況、雇用条件の相違、満足感、相談できる人の有無)

- 11) 成功体験を重ね、有用感を感じられる課題を設定する
- 12) 自己の位置づけを確認するために、グループ(集団場面)を活用する
- 13) チェックリスト等アイテムを活用した自己観察・評価を取り入れる
- 14) 他者評価を提示し、自己評価と比較させる
- 15) 13)、14)を勘案して、全体を総括するレポートを出す
- 16) 演習の機会を繰り返し設定し、意識喚起する
- 17) できることを取り上げて伸ばす
- 18) 選択肢を準備し、利用者に自分自身で選択してもらう
- 19) 競争ではなく、利用者が自分のペースで活動するように促す
- 20) 活動する前に、活動方法等を自分の力で企画するよう促す
- 21) 活動の途中で、利用者にその方法を自分で検討し、解決するよう促す

※「メタ認知」には、メタ認知的知識とメタ認知的活動があります

「メタ認知的知識」: 主にSheet Cに該当
・人の認知活動や方略などについての知識のこと

「メタ認知的活動」: 主にSheet Dに該当
・自分の認知過程を客観的にモニタリング(観察)する活動
→認知についての予測・点検・評価などを含む
・目標に到達するようコントロール(調節)する活動
→認知についての目標設定・計画・修正

利用者氏名

相談を進める際に留意する点	日付				
	/	/	/	/	/
A 導入時の工夫					
(1) 課題の検討に入る前に、前回の振り返りや今回の目的などを説明したか？					
(2) 課題は、カウンセラー主導ではなく、利用者自身の選択として設定したか？					
(3) 利用者との間で、取り組む課題に対して努力する意義を確認したか？					
(4) あらかじめ取り扱う枠組みを提示し、同意を得たか？					
(5) 「あなたの問題が軽くなるために」という発想を共有したか？					
B 課題選択					
(6) 取り上げようとしている課題は、支援によって修正可能かどうか？					
(7) 課題を取り扱うことによる利用者の被害感・不快感情の増幅を考慮して課題を選択したか？					
(8) 一度に全てを扱ったり、決着させようとせずに、利用者にとって無理のない段階を踏んだか？					
(9) 困り感や緊急度の高いものから話題を選択したか？					
C フィードバック					
(10) 評価結果と過去の経験、将来の予測と結びつけて説明したか？					
(11) 正のフィードバックを基本としたか？					
(12) 得られた成果を利用者の努力や能力に関連づけて、フィードバックしたか？					
(13) 負の部分伝える際に、「あなたならできると言うから言っている」という思いが伝わるようにしたか？					
(14) 課題に取り組んだ結果の成否に関わらず、次に活かせるよう、そこから何を学べたのか、共に振り返ったか？					
D 評価の留意点					
(15) 利用者の評価（記述、発言）と実際の行動とのズレに着目したか？					
(16) 不調に終わった事実において、利用者はどうなりたいと思っていたかに着目したか？					
(17) 他の利用者とは比べず、本人の個人内変化を評価したか？					
(18) 利用者自身が自分の認知をより深く、適切に意識できるように働きかけをしたか？ (※Sheet C、D、「言葉がけのヒント」等を参考に)					
E ネットワーク					
(19) (特に困り感、問題意識が希薄な利用者の場合に) 周囲と連携するための同意をとったか？					
(20) 複数の関係機関が関与する場合に、状況の整理を行い、役割分担をしたか？					
(21) 利用者を適切に評価できるように、家族や関係者にもアプローチしたか？					
(22) 結果を利用者、関係者と共有したか？					
(23) その他 ()					

記入例：○十分した △不十分だった ー該当無し

利用者氏名 _____

④【自分の考えについて】		⑤【利用者から見た周囲の考え方】	
上段(白): 確認項目と確認する際の質問の例文、下段(青): 回答メモ欄 <チェックの基準> 「A」: 明確に意識化できており、介入不要である 「B」: 明確に意識化できているが、修正が必要である 「C」: 意識化が不十分で、明確にする必要がある		チェック 利用者は、左記の質問に関する家族、学校の先生や友人、職場(施設)の上司や同僚、主治医の考えについて、どう認識しているか? (利用者が回答した人に○をつけ、空欄に回答内容を記述する)	
希望	相談の目的をどのように捉えているか 例:「今回の相談の目的は何ですか?」	A・B・C	家族・先生/友人・職場の上司や同僚・主治医やPSW・その他()
	将来、なりたいイメージはどのようなものか (就職/復職に関する興味・関心、希望を含める) 例:「今後どのように就職/復職活動を進めたいと思っていますか?」	A・B・C	家族・先生/友人・職場の上司や同僚・主治医やPSW・その他()
現状	将来に向けて、自分なりに計画し、取り組んでいることはどのようなものか 例:(就職/復職にあたり)「これまで何かご自分なりにやってみた(準備した)ことがあれば、聞かせてくれますか?」	A・B・C	家族・先生/友人・職場の上司や同僚・主治医やPSW・その他()
	実践した結果から得られた自分なりの成果や残された課題はどのようなものか 例:(就職/復職にあたり) 「やってみて分かったことは、どんなことですか?」 「やろうとしてできずにいるのは、どんなことですか?」	A・B・C	家族・先生/友人・職場の上司や同僚・主治医やPSW・その他()
	(就職/復職にあたり)困っていることはどのようなものか 例:「就職/復職にあたって、困っていることやわからないことは、どんなことですか?」	A・B・C	家族・先生/友人・職場の上司や同僚・主治医やPSW・その他()
	困っていることの順位や、解決のための方法はどのようなものか 例:(就職/復職にあたり) 「その中で、一番困っているのはどの部分ですか?」 「状況を改善するために、何かやってみようとしていることはありますか?」	A・B・C	家族・先生/友人・職場の上司や同僚・主治医やPSW・その他()
(ハンディ・自分の疾病や障害や苦手なこと等)	自分の疾病や障害についてどのように捉えているか 例:「疾病や障害をどのように理解しているか、聞かせてもらえますか?」	A・B・C	家族・先生/友人・職場の上司や同僚・主治医やPSW・その他()
	職業生活上ハンディとなり得るのはどのようなことか 例:「障害や疾病によって、仕事をする上で不便と感じていること、気になること、今後留意しなければいけないことがあれば聞かせてもらえますか?」	A・B・C	家族・先生/友人・職場の上司や同僚・主治医やPSW・その他()
◎ 態度特性	エピソードと認知の関係	語られたエピソードから類推される利用者の認知は論理的であるか?	論理的 5 4 3 2 1 非論理的
	自分に対する態度	利用者が自分自身をどのように認識しているか?	肯定的 5 4 3 2 1 否定的
	他者に対する態度	利用者が他者(主に親しい関係にある人)をどのように認識しているか?	親和的 5 4 3 2 1 懐疑的
	課題に対する態度	利用者にとって難しい場面に直面したときにどのような態度をとることが多いか?	積極的 5 4 3 2 1 消極的/回避的

<今の私(現状等)>

<次回までに取り組むこと>

取り組み期間: 年 月 日 ~ 年 月 日

上段		取り組む予定の「目標」、その「ステップ」や「感じていること」について、記入してください。	
下段		取り組む前にチェックすること(事前予測)	取り組んだ後にチェックすること(事後評価)
現状にあった目標	目標の内容等		
		Q. 今の自分にとって、無理のない目標だと思いますか？ はい・いいえ・どちらでもない	Q. 目標は自分にとって適切だったと思いますか？ はい・いいえ・どちらでもない
達成までのステップ (方法、順番、計画期間等)	ステップ		
		Q. 無理のないステップ(方法、順番、計画期間等)になっていると思いますか？ はい・いいえ・どちらでもない	Q. ステップは適切でしたか？ はい・いいえ →いいえの場合、ステップの修正を行いましたか？ はい・いいえ
チャレンジのポイント (難しいところ 重要なところ等)	ポイント		
		Q. 難しい部分に対処する方法はありますか？ はい・いいえ・どちらでもない	Q. 最初に難しいと感じていたことと異なることはありましたか？ はい・いいえ

上段		チェックする内容	
下段		取り組む内容の「達成予測」について、記入してください。	
達成の予測		Q. どのくらい達成できそうですか？	0% _____ 50% _____ 100%
		Q. どのくらい達成できましたか？	0% _____ 50% _____ 100%
	達成予測の理由()	memo欄	

取り組み期間: 年 月 日 ~ 年 月 日

